

令和8年度入学試験問題

小論文

(後期日程)

地域資源創成学部

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子は8ページあります。
3. 解答用紙は2枚あります。すべての解答用紙の受験番号欄に受験番号を記入しなさい。受験番号が正しく記入されていない場合は、採点できないことがあります。また、試験室にて指示があった場合には、すべての解答用紙の座席番号欄に座席番号を記入しなさい。
4. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入しなさい。
5. 下書き用紙が1枚あります。
6. 試験中に問題冊子及び解答用紙の印刷不鮮明、ページの落丁及び汚損等がある場合には、手を挙げて監督者に知らせなさい。
7. 試験終了後、問題冊子及び下書き用紙は持ち帰りなさい。

以下の文章の**第1部**および**第2部**は、猪木武徳著『経済社会の学び方』(中央公論新社, 2021)の一部を抜粋したものである(なお設問の都合上, 内容を変えない範囲で, 一部改変した)。**第3部**は, イギリスの統計学者エドワード・H・シンプソンが1951年に発表した統計学的なパラドックスを説明したものである。これらの文章を読み, **問1～4**に解答しなさい。

第1部

この部分は現在著作権処理中です。

この部分は現在著作権処理中です。

第2部

この部分は現在著作権処理中です。

この部分は現在著作権処理中です。

第3部

イギリスの統計学者エドワード・H・シンプソンが1951年に発表した統計学的なパラドックス^(注1)は、全体の相関と、全体を分割したときの相関が逆になってしまうというもので、一般には「シンプソンのパラドックス」として知られている。

第1部と第2部の文章の著者は、同書の中で「

(引用部分は著作権処理中のため省略)

』と述べている(猪木武徳著『経済社会の学び方』中央公論新社, 2021)。

以下に、シンプソンのパラドックスの具体例を挙げる。

Students from both High School A and High School B took the same test. The following table shows the number of males and females in each high school and the average scores for males and females.

Results from High School A

	Male	Female
Number of students	70 students	30 students
Average score	60 points	80 points

Results from High School B

	Male	Female
Number of students	40 students	60 students
Average score	55 points	75 points

From these results, we can see that:

- The average score for males in High School A is 5 points higher than that in High School B.
- The average score for females in High School A is also 5 points higher than that in High School B.

Does this mean we can simply conclude that the average score of High School A is higher than that of High School B for both genders combined? Actually, the calculations show that the results X this impression.

^(注1)パラドックスとは、正しそうな前提と妥当にみえる推論から、受け入れがたい結論が得られることをいう。逆説ともいう。

問1

(1) 第1部の下線部「逆の因果性」とはどのようなことか。福沢諭吉が論じた事例^(b)を用いて、80字以内で説明しなさい。

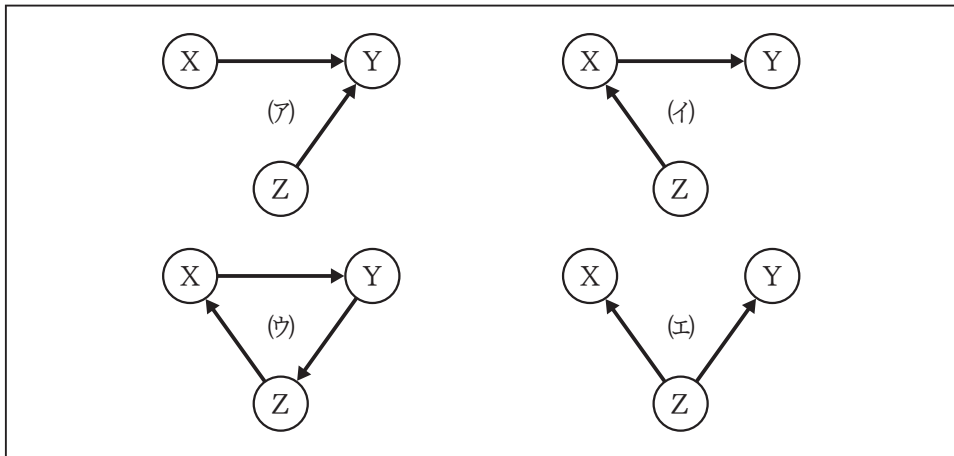
(2) 第1部の下線部「何かが生み出されるのには様々なレベルの現象がある」とある^(c)。本文では、毛虫が蛾になることは、内的に埋め込まれた可能性として述べている。また、青葉が赤くなることは、外的な条件によって変化したと述べている。このことを参考にして、以下の(ア)~(オ)のうち、内的に埋め込まれた可能性によって、地域の商店街が衰退するという結果を生じると考えられるものを一つ選択し、カタカナで解答欄に記入しなさい。

- (ア) 大型ショッピングモールの進出
- (イ) オンライン通販の普及
- (ウ) コロナ禍による客の減少
- (エ) 商店街の店主たちの高齢化
- (オ) 景気の低迷

問2

(1) 第2部の下線部「相関関係を因果関係として解釈することの誤り」^(d)とあるが、ロシアのS県で起こった事件において、どのような誤りがあったか、「相関関係」と「因果関係」という言葉を用いて、100字以内で説明しなさい。

(2) 第2部の下線部「Xを共通の原因とするためにYとZが同じような動きを見せることから、YとZの間の因果関係を推測してしまう」^(e)とある。では、真の因果関係をどのように示すことができるか。本文中の「アイスクリームの売り上げが伸びる」をX、「水難事故者数が増える」をY、「多くの人が泳ぎに来た」をZとしたとき、X、Y、Zの関係で正しいものを以下の(ア)、(イ)、(ウ)、(エ)の中から選びカタカナで解答欄に記入しなさい。ただし、矢印(→)の始点は因果関係の原因を、終点は結果を示すものとする。



問3

(1) 第3部に示されたシンプソンのパラドックスの具体例において、各高校の男女合わせた全体の平均点をそれぞれ求めて解答欄に整数で記入しなさい。

(2) 第3部から読み取れることとして、以下の(ア)~(エ)のうち正しいものに○を、誤っているものに×を、解答欄に記入しなさい。

- (ア) 部分の相関と全体の相関は必ず一致する
- (イ) 部分と全体で相反する相関になることがある
- (ウ) 部分の傾向が分かれば、全体の傾向も自ずと判断できる
- (エ) A高校の方が優秀であると結論づけることができる

(3) 第3部の に入るものを以下の選択肢から選び、カタカナで解答欄に記入しなさい。

- (ア) resemble
- (イ) differ from
- (ウ) follow
- (エ) match with

問4

第1部から第3部までを踏まえて、社会の課題の解決策を検討する上で「思わぬ^(a)落とし穴」に陥らないように注意すべきことは何か、以下の語句を用いて310字以内で論述しなさい。

(語句：因果の双方向性、相関関係、統計と大まかな推論)

※なお、この小論文試験は、論旨の明確さや言葉の正確さ、あるいは文章の論理性を見るためのものであり、思想、信条、意見の方向性などは評価に関係しない。